

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2007年1～3月期)

第44回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成18年10～12月との比較）
 - （2）前年同期比（平成18年1～3月との比較）
 - （3）来期見通し（平成19年4～6月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	194社
回答率	38.8%
(業種別)	
製造業	71社
建設業	42社
卸売業	20社
小売業	28社
サービス業	33社
合計	194社

(2) 実施時期

平成19年1～3月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

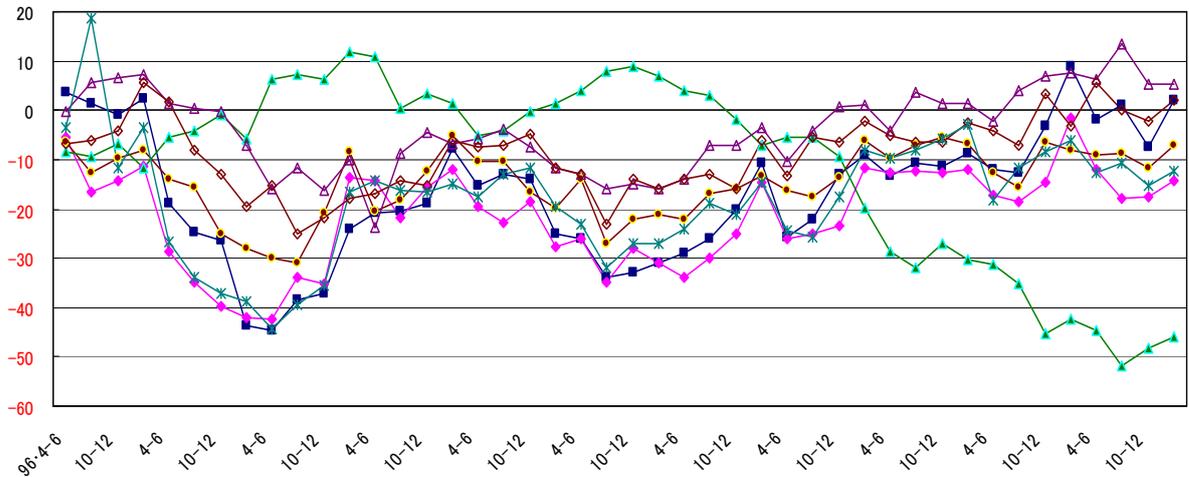
2. 調査結果 (D I)

D Iとは(景況判断指数)とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

- 売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
 採算D I = (好転 ") - (悪化 ")
 資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")
 仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")
 雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")
 設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")
 業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	7-9	10-12	05/1-3	4-6	7-9	10-12	06/1-3	4-6	7-9	10-12	07/1-3
■売上	-10.8	-11.3	-8.7	-12.1	-12.6	-3.3	8.8	-1.9	1.0	-7.4	2.1
◆採算	-12.2	-12.7	-12.0	-17.2	-18.6	-14.6	-1.5	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4
●資金繰り	-7.0	-5.4	-6.7	-12.6	-15.6	-6.6	-8.2	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2
▲仕入価格	-31.9	-27.0	-30.3	-31.2	-35.2	-45.3	-42.3	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9
△雇用状況	3.8	1.5	1.4	-2.3	4.0	7.1	7.7	6.4	13.5	5.3	5.2
◇設備投資	-6.6	-6.4	-2.4	-4.2	-7.0	3.3	-3.1	5.7	0.0	-2.1	2.1
*業況	-8.0	-5.9	-2.9	-18.1	-11.6	-8.5	-6.2	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4

3. 概況

「年度末需要で売上はプラスだが、見通し晴れず」

(1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前回調査のプラスから再びマイナスへ。サービス業では改善がみられたが、その他業種で悪化。その中でも、建設・卸売・小売が数値的にさえない。

前年同期比のD I 値は、売上D I がプラスに転じたものの、その他の項目では前回調査並み。業種別でみると、サービス業が改善しているが、建設業が厳しい。小売業も前回調査より好転をみせたが、数値的にはまだ大きなマイナス値のままである。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、多くの項目で大きなマイナス値を示している。業種別では、製造業が唯一のプラスをみせるが、建設業が年度始めの発注の少ない時期にあたることや一般競争入札の導入により、かなり厳しい見通し。その他の卸・小売・サービス業も依然としてマイナス値のままである。「新知事の効果に期待」という声も聞かれた。

仕入価格については、目だった変動はないが、原油価格の高止まりに伴い大きなマイナス値を予想している。

(3) 経営上の問題点

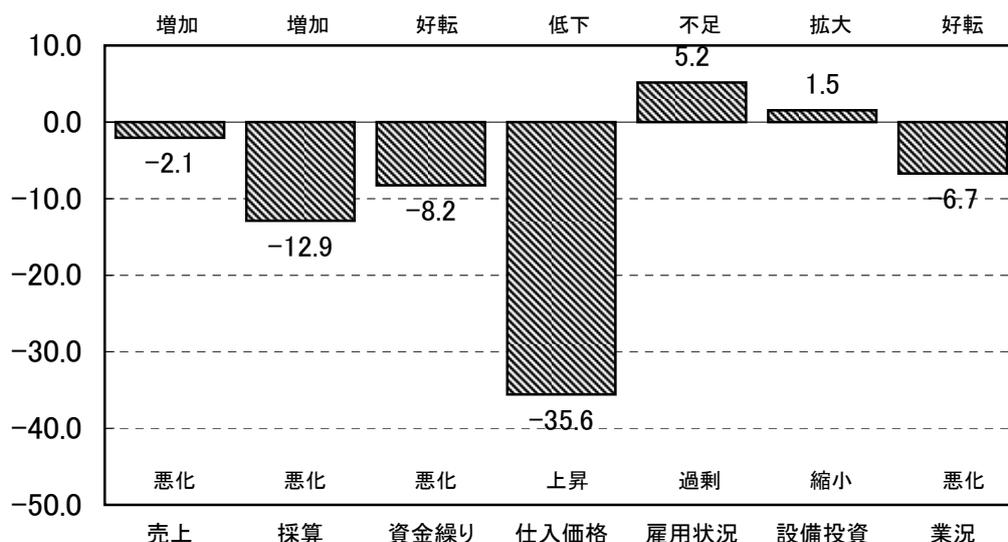
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が1位で、2位に「原材料価格の上昇」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続き、上位3つは前回と不変。

(4) 今後の対応策

今回も、「その他合理化を実施したい」が1位、「新規市場を開拓したい」が僅差の2位と上位を占める。その後、「人件費を削減したい」が3位で、4位に「新製品の開発を行いたい」と続いている。

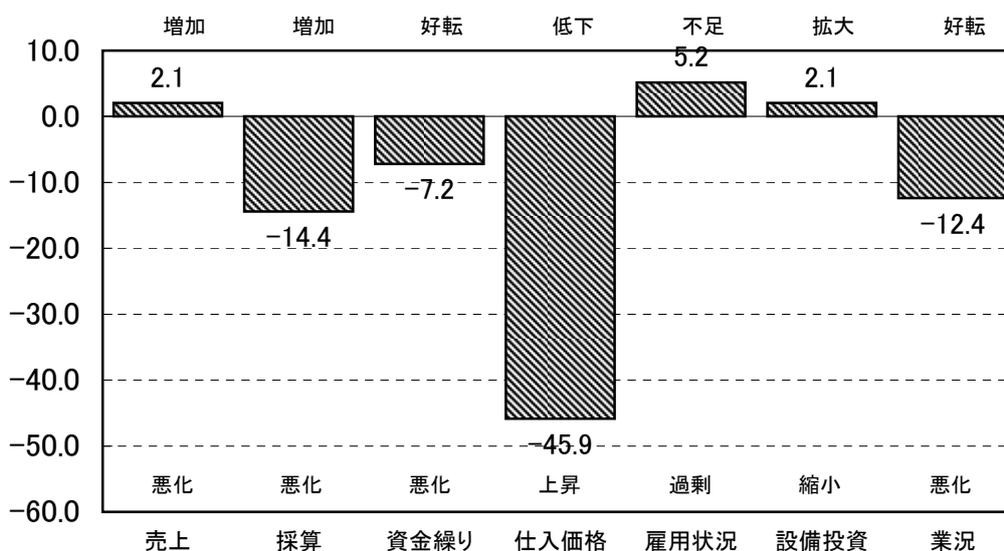
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成18年10～12月比)



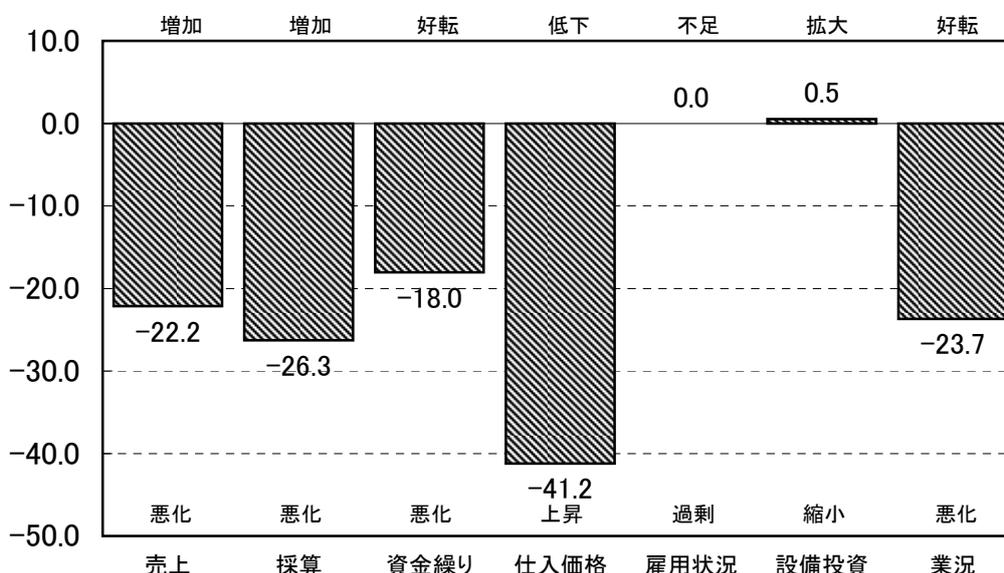
全業種の前期比D Iは、前回調査のプラス値からマイナスへと悪化してしまった。サービス業では改善したが、他業種で悪化してしまった。その中でも、建設・卸売・小売が数値的にさえない。

前年同期比(平成18年1～3月比)



前年同期比D I値は、売上がプラスに転じたものの、他数値では前回並み。業種別では、サービス業が改善しているが、建設業が厳しい。小売業も前回調査より改善したが、数値的には、まだ大きくマイナスのまま。

来期見通し(平成19年4～6月見通し)

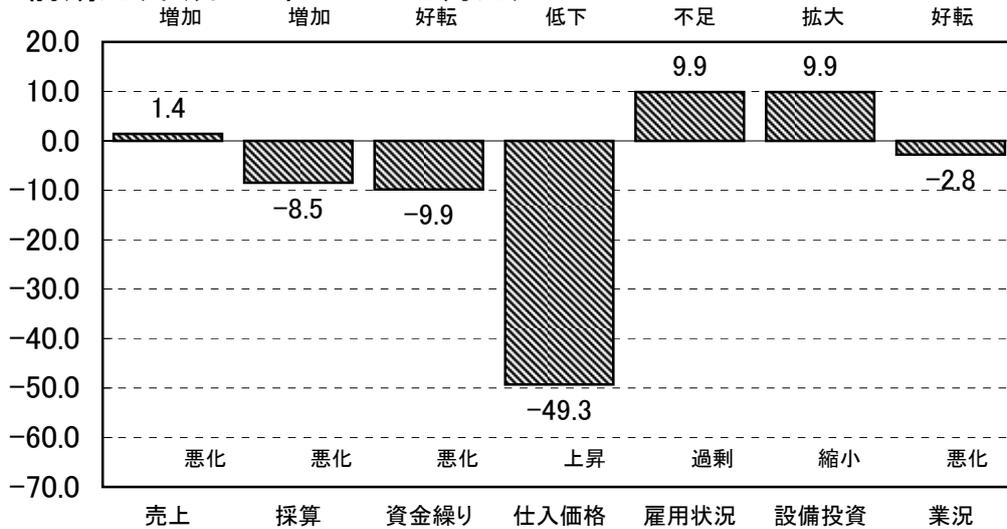


来期見通しD Iは、また大きくマイナス値を示している。製造業で若干のプラスだが、建設業が年度始の発注が少ない時期であることや一般競争入札導入で、かなり厳しい数値見通し。その他、卸・小売・サービス業も依然としてマイナス値のままである。

5. 業種別の景気動向

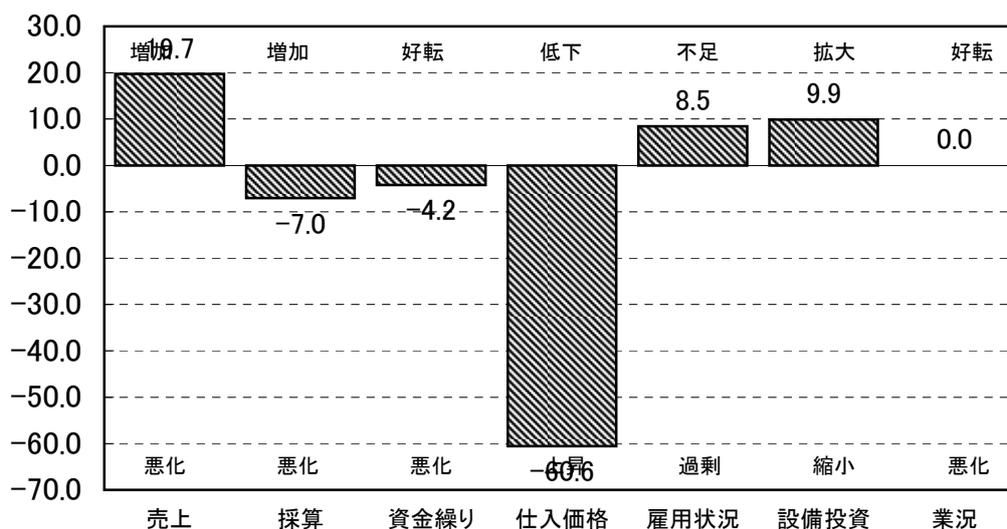
(1) 製造業

前期比(平成18年10～12月比)



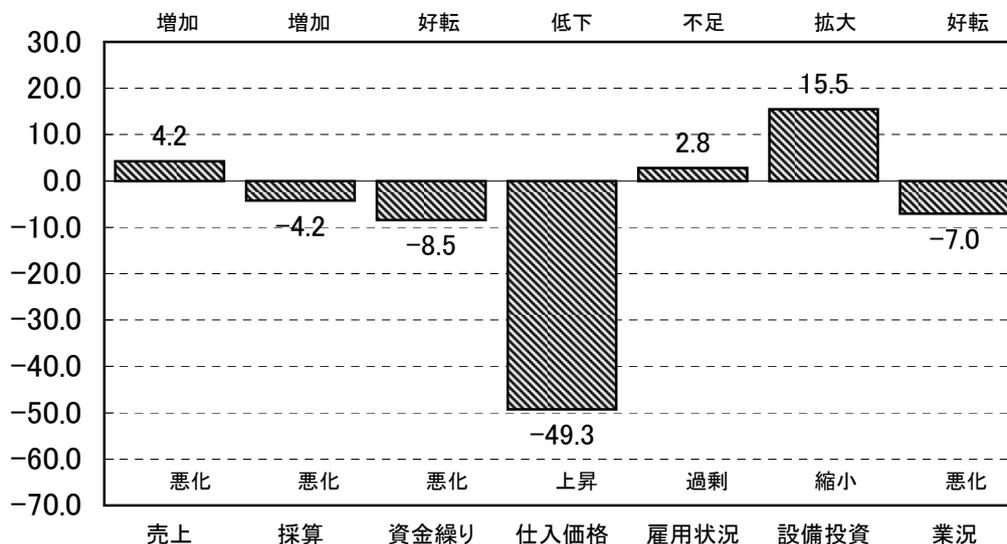
製造業の前期比D I値は、若干悪化ながらも、前回とほぼ同じ数値。「原材料の高騰」を懸念する声が聞かれるも、好調な顧客を抱える事業所も。ただ、「不変」とする声が多かった。

前年同期比(平成18年1～3月比)



前年同期比D Iも、ほぼ前回調査並みの数値となった。「営業活動の結果」、「災害特需」の声が聞かれるが、全般的には「原材料の高騰」、「変化がなかった」の声が多かった。

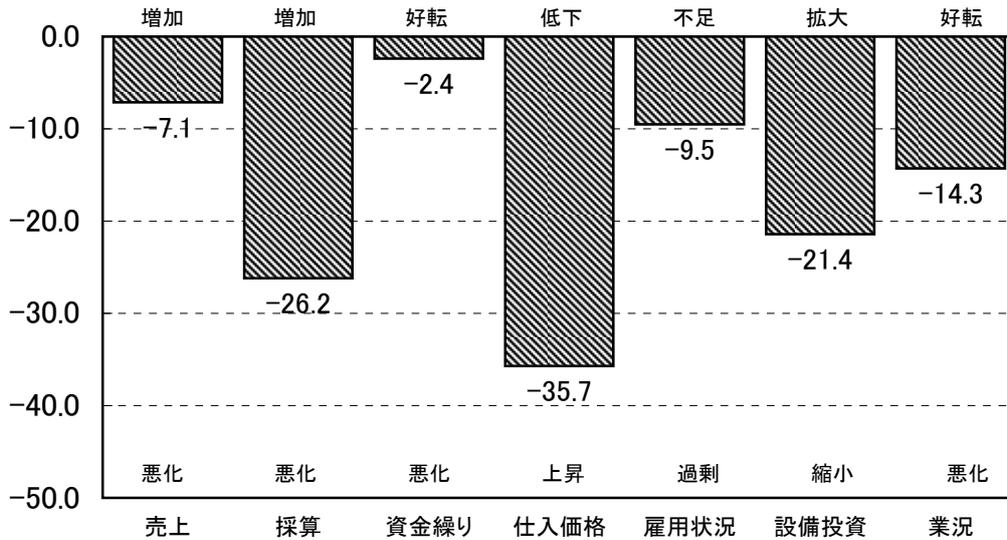
来期見通し(平成19年4～6月見通し)



来期見通しD I値は、若干ながら改善をみせた。公共工事削減でセメント製造業、原材料・燃料の上昇で紙パ等が影響を受ける見通したが、全般的には受注は増えている模様である。

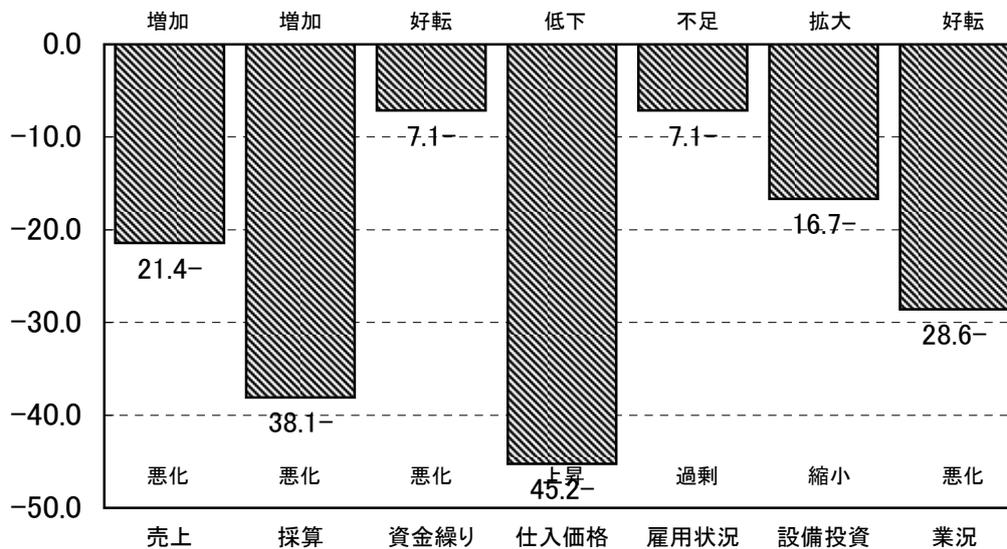
(2) 建設業

前期比(平成18年10～12月比)



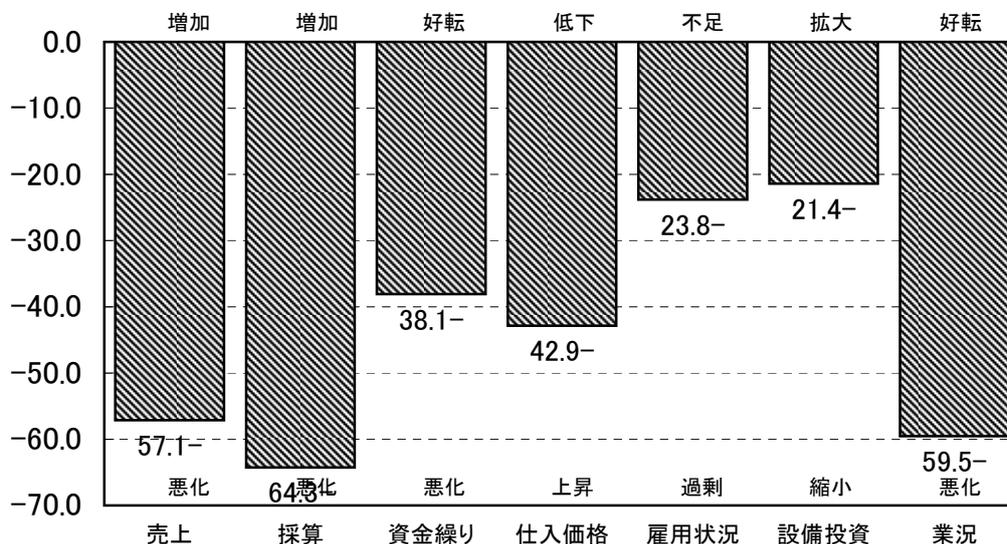
前期比DI値は、若干であるが、前回調査を下回った。本来であれば、年度末需要期であるが、全般的に、公共工事の発注量が減っていることが影響しているものと思われる。

前年同期比(平成18年1～3月比)



前々回の売上DIがプラスとなり回復かと思われた建設業であるが、今回調査では大きく悪化してしまった。前期比の要因同様、公共工事削減とそれに伴い民間工事での競争激化となっている模様。

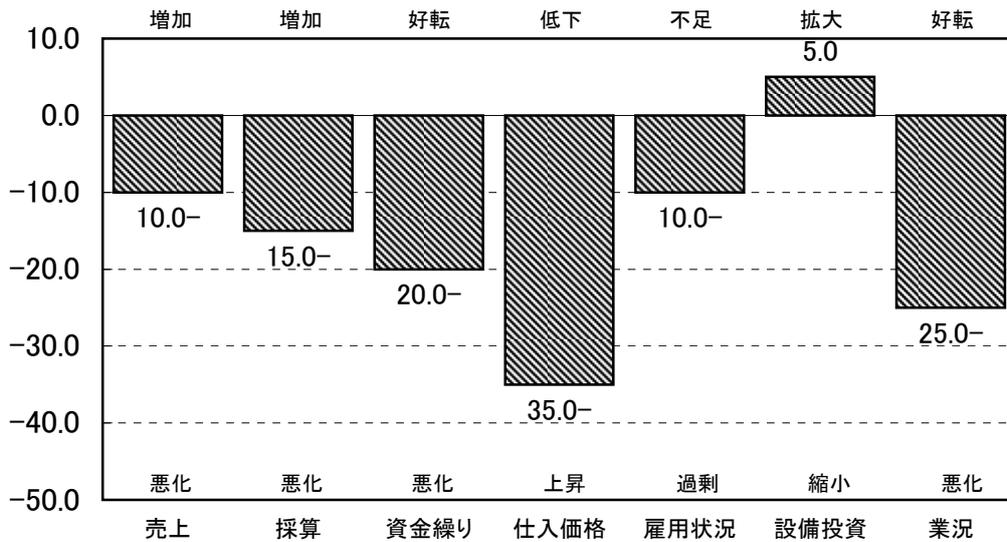
来期見通し(平成19年4～6月見通し)



来期見通しDIは、全業種中、最悪の数値を示す結果となった。公共工事の削減に加え、一般競争入札の導入で「適正価格での受注が困難」と採算面でも最も悪い見通しとなっている。

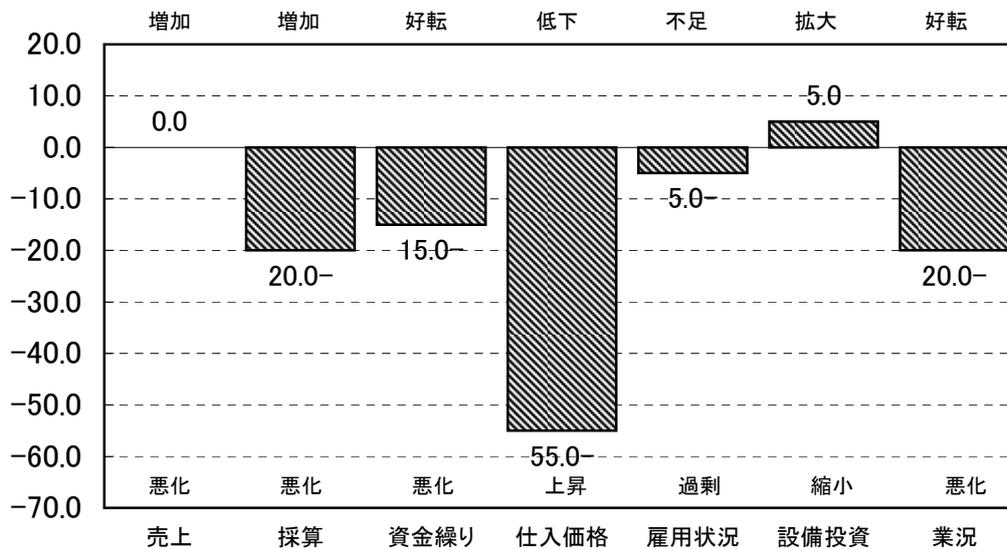
(3) 卸売業

前期比(平成18年10～12月比)



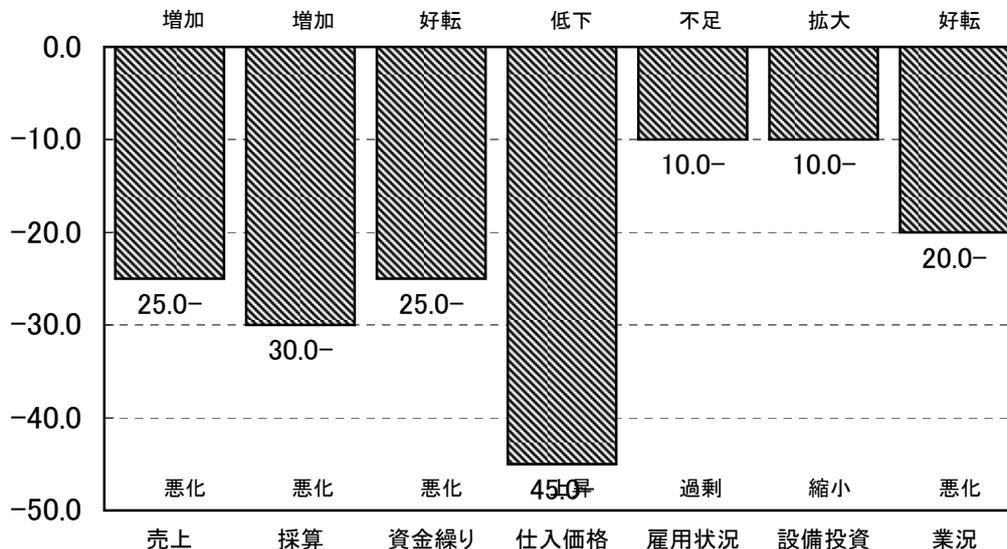
前回調査ではプラスであった前期比の売上DII値再びマイナスへ転じてしまった。生活用品・食品卸が「歳末商戦の反動」により悪化した模様。

前年同期比(平成18年1～3月比)



前年同期比DIIは、売上では改善を見せたが、業況では悪化している。「横ばい」(食品卸)、「好転の要素なし」(業務用品卸)と弱気のコメント多し。

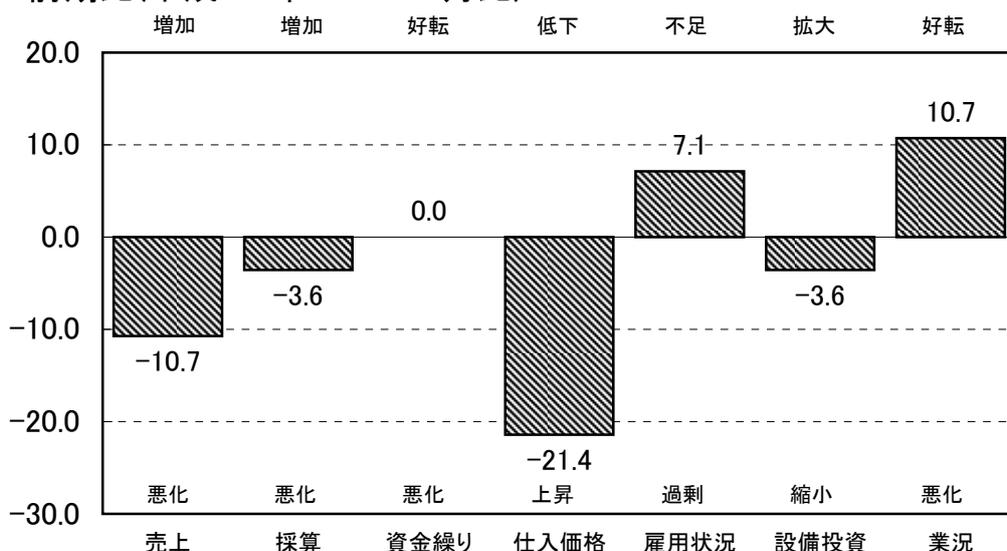
来期見通し(平成19年4～6月見通し)



来期見通しDII値は、マイナス値ながらも、売上・採算・業況が改善をみせた。まだ動きがみられない建築資材卸・塗装卸ではあるが、新年度への期待もある模様。

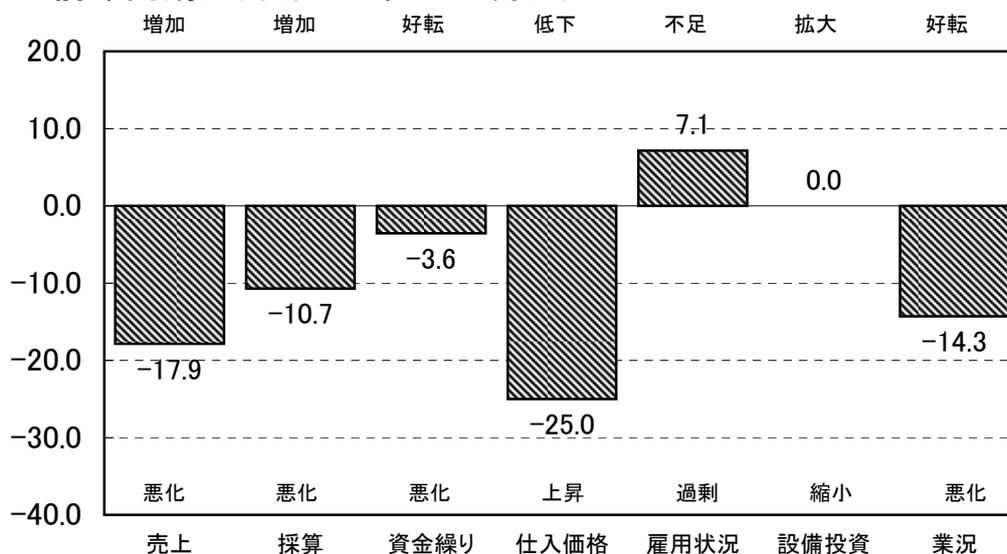
(4) 小売業

前期比(平成18年10~12月比)



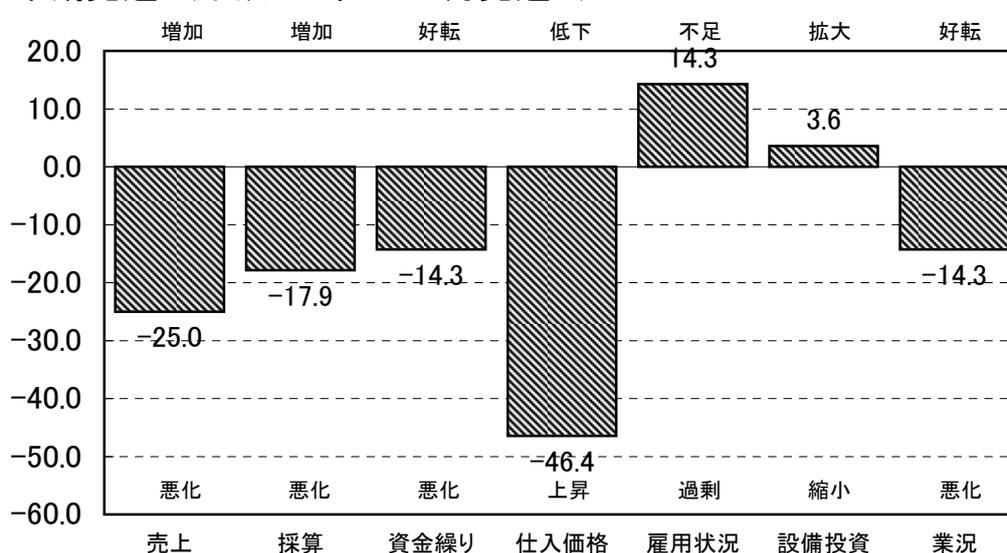
小売業の前期比DI値は、売上が前回とほぼ同じ数値ながらも、業況はプラスに転じた。「下げ止まりを感じる」(食料品)、「年度末需要で伸びた」(自動車整備販売)と年度末の恩恵を受けた模様。

前年同期比(平成18年1~3月比)



前年同期比DI値は改善をみせたが、依然としてマイナスで、全業種中、建設業に続いて悪い数値。大型SC出店から「影響が一巡した」との声も多く聞かれた。

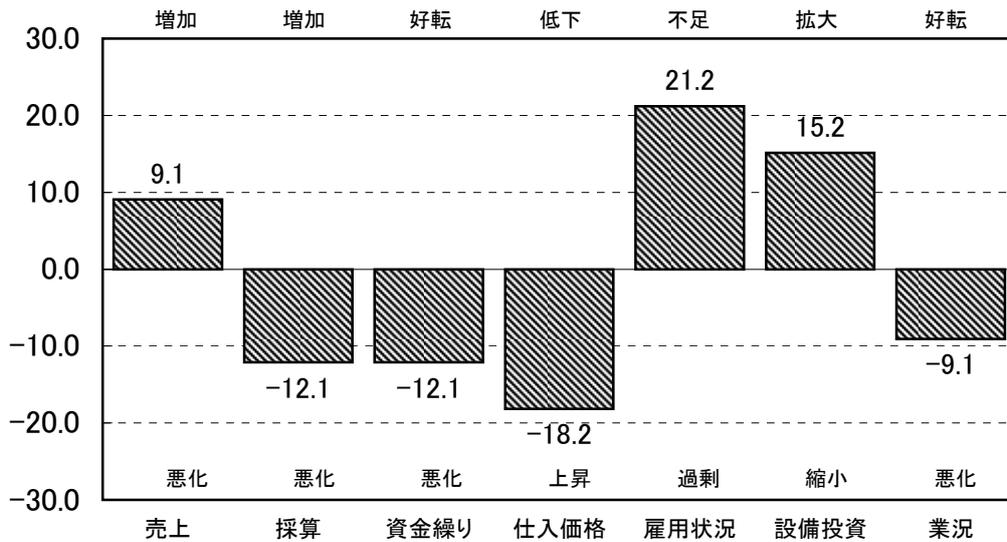
来期見通し(平成19年4~6月見通し)



小売業の来期見通しDI値は、悪化を予想する数値となった。ただ、コメントには、「景気は良くなる」(食料品スーパー)、「知事効果に期待」(食品小売)と希望を持たせるものが増えてきている。

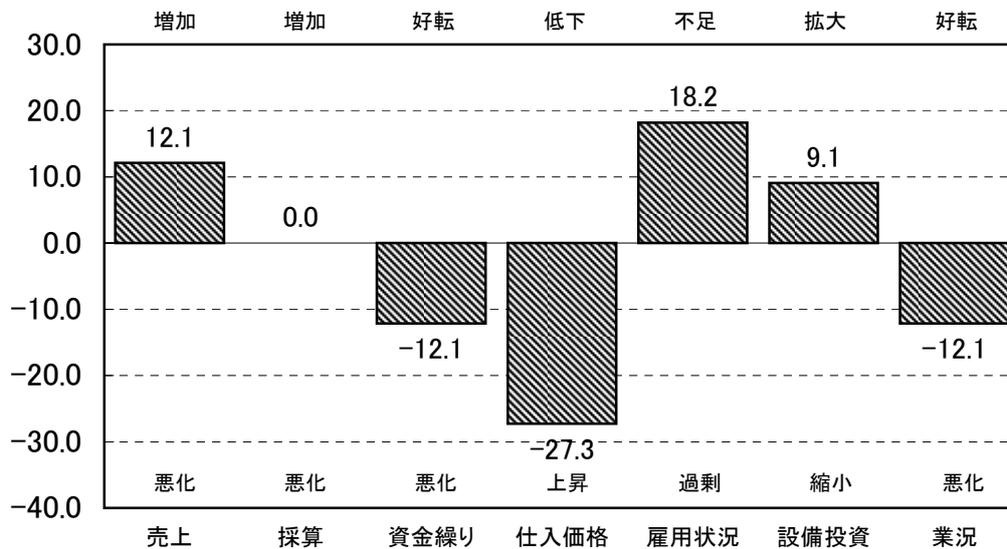
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成18年10~12月比)



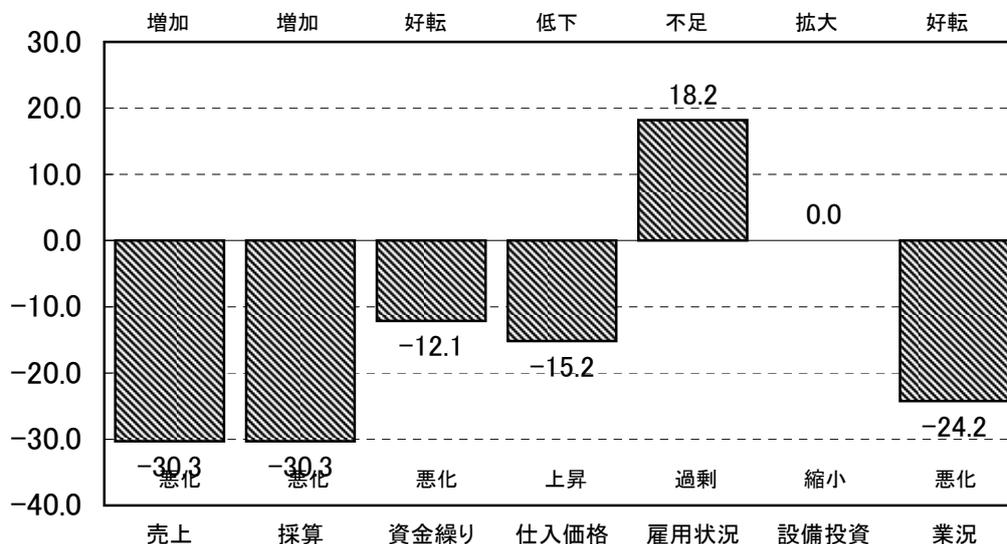
サービス業の前期比は、売上D Iではほぼ前回調査同様ながらも、業況は悪化した。「ほぼ横ばい」、「伸びはない」状況下、「競争の激化」、「単価の低下」等で、業況自体は厳しかった模様。

前年同期比(平成18年1~3月比)



前年同期比D Iは、売上が前回調査のマイナス値から大きく改善。数値的には「本格回復か」とも思われるが、「燃料高騰」、「消費が上向かないため広告費削減」、「利用客の減少」等弱気のコメントが多かった。

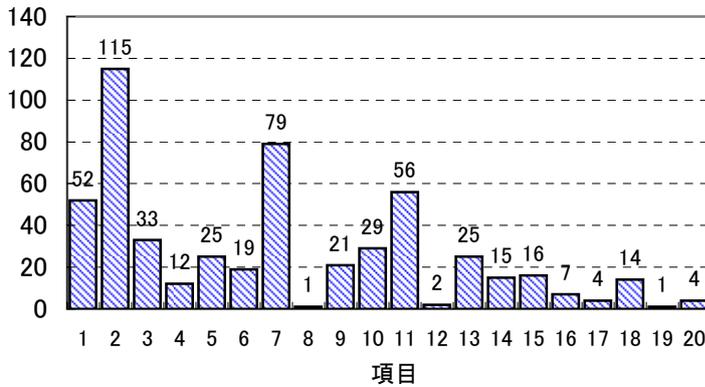
来期見通し(平成19年4~6月見通し)



来期見通しD Iは、前回調査よりも悪化し、全業種中でも芳しくない数値となった。「新記事のPRに期待」(ホテル)も、同じホテル行でも「ビジネス客の日帰り」、「景気低迷」(日南)に「燃料、仕入価格の上昇」が追い討ちをかけている状況。

6. 経営上の問題点

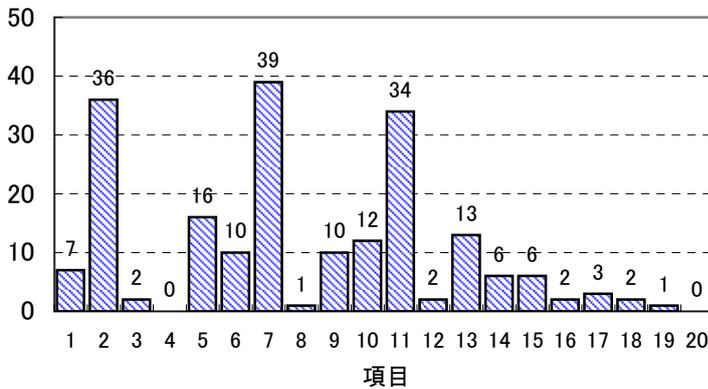
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

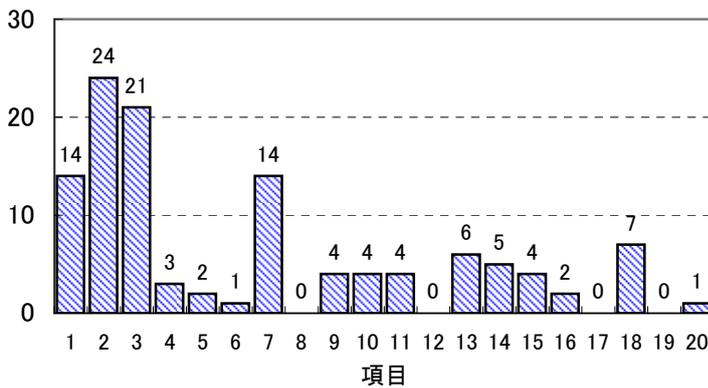
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

建設業



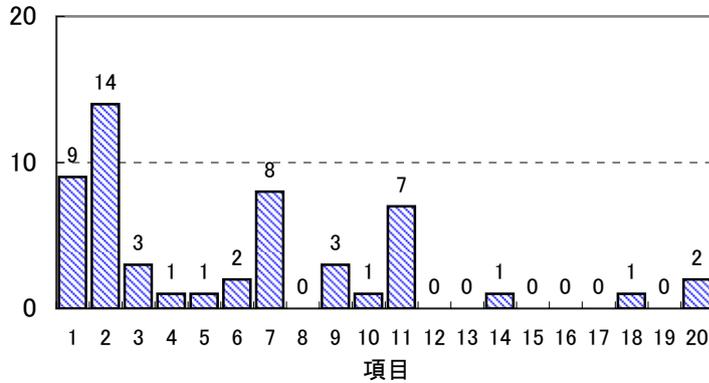
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 取引条件の悪化

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

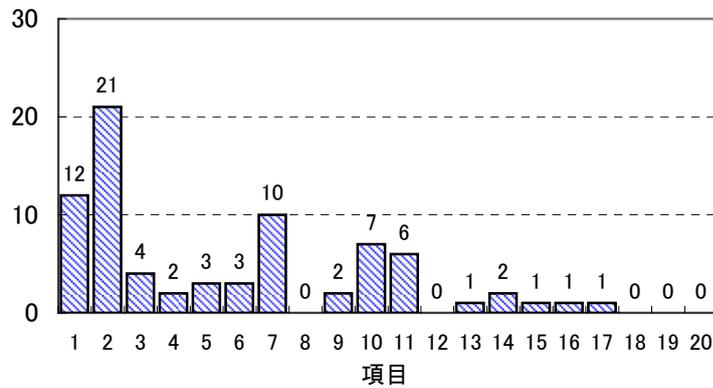
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

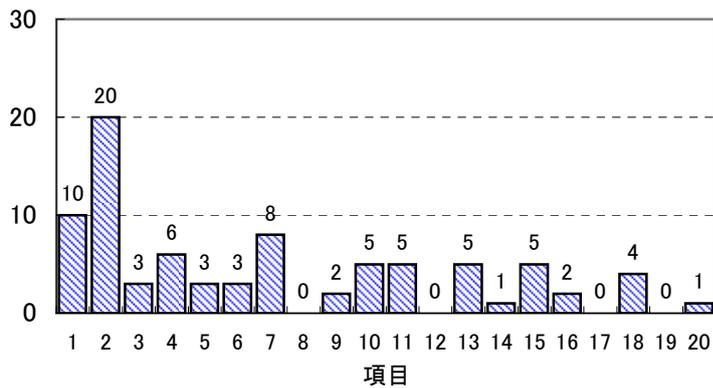
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 人件費の増加
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

サービス業



順位

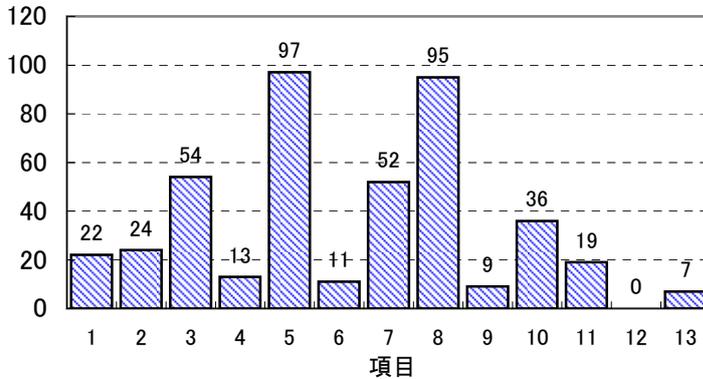
- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 人件費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

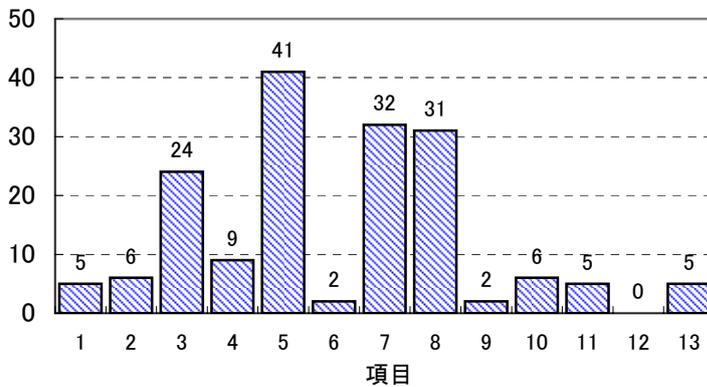
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

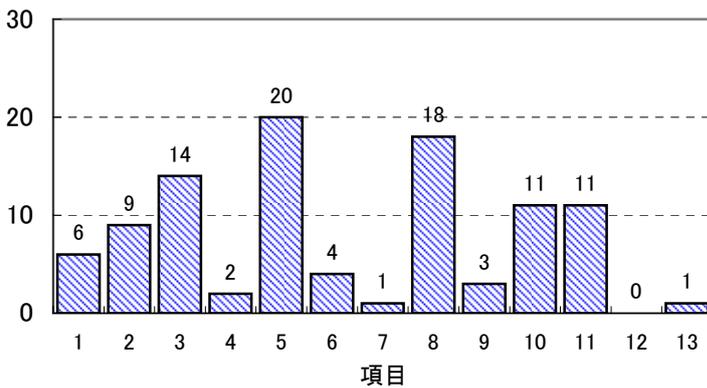
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新製品の開発を行いたい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 生産調整を行わないたい

建設業



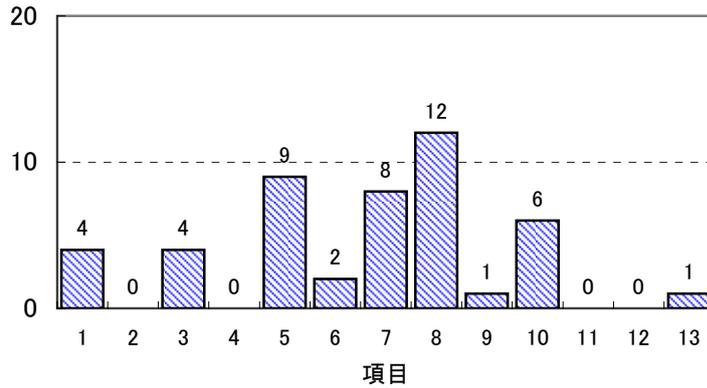
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 下請け発注を減らしたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

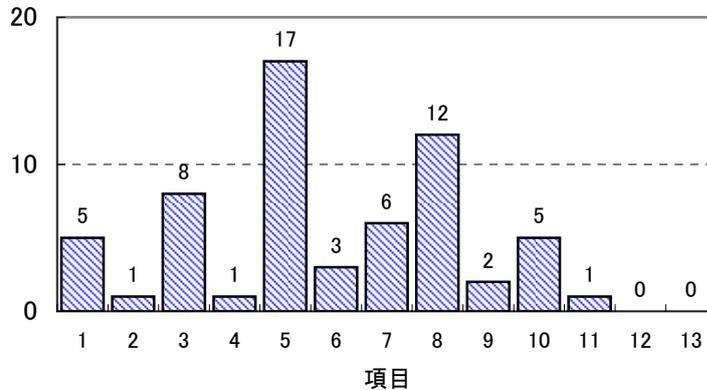
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

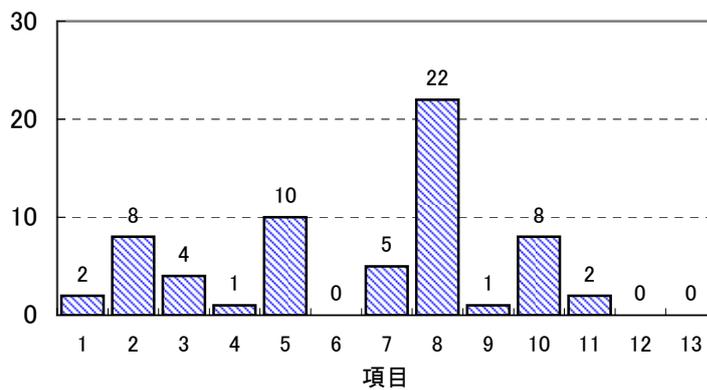
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	段ボール製造販売	都城	どこの企業も原料の上昇、輸入品の規制緩和等で苦しい状況であり、お互い同等品の販売であれば価格競争になるのは必然であります。この状況を打破するには消費者ニーズにあった独自性のある商品を開発するか、薄利多売で採算の合わない商売で生き残るしかありません。後者になると利益率を上げるため、人件費の見直し、また雇用調整などの経費削減に走り、ますます雇用は減ってくると思います。独自では、色々考えているのですが、地域レベルでと考えてた場合、希望としてはまず地元企業のPR対策、または商品開発にともなう費用の支援、生産者等の後継者育成等
製造業	倉庫業	都城	企業誘致。都城の農畜産物を主とした生産工場の誘致
製造業	機械部品、金属加工	宮崎	県は公共工事の拡大をしなければ、景気は良くなりません。知事は農産物を特に力を入れているようですが、県全体のことを考えてほしい。景気回復に期待したい。
製造業	IC製造業	宮崎	外形標準課税のように企業の利益に関係なく発生する税金は、企業の負担となっています。コスト削減にも限界があるので、国・県には税金の軽減を望みます。
製造業	印刷業	宮崎	好況感のイメージづくり
製造業	機械器具製造	延岡	まだまだ先の見通しが、つきません。
製造業	鋼材加工販売	延岡	他県からでも仕事を受注するように積極的に活動したい。
製造業	木工所	延岡	景気が浮揚しても、地域の業種柄、好影響は期待できませんが、この状況下で、労働条件に関する法律等の改正が相次ぎ、これ等をどのように施行定着させるか頭が痛いところです。パートタイム労働法や男女雇用機会均等法、育児介護休業等詳細に実施は困難です。
製造業	食品工業	日向	農家への過剰保護による関税を緩やかにし、自由貿易へ転換して欲しい。
製造業	紙・パルプ製造	日南	現状の景気を維持してほしい
製造業	コンクリート製品	日南	地元2市2町の需用が激減しているうえ、他地区からの流用でさらに競争は激化している。地元産品愛用とか地場企業の育成など掛け声ばかりであまり実効は上がっていない。需用量の多い県北・県外への営業努力で何とかしのいでいる。
建設業	管・水道施設工事業	都城	公共工事を受注すると十分な利益を取れると一般の人は思われていますが、現実には非常に厳しく、以前とは違っています。そこらあたりを理解していただきたい。労務単価下落は信じがたい(国交省)中央だけが好景気でいいのか。県の対策はあるのか
建設業	タイル施工工事	都城	金利の上昇の早さに景気対策がどうついていっているのかがまったくみえない
建設業	建設業	都城	早急に一般競争入札を中止し、指名競争入札制度にかいていただきたい
建設業	管工事冷暖房設備	宮崎	入札方式の改革という命題が動いているが、マスコミ受けしている形ではなく、本当に県民がどうゆ苦勞・難問を担っているか、業界の立場に立って検討して欲しい。競争(入札)させてよい物件ができるものではないので、委員会を作って論じてもらいたい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	新知事の精力的な努力により、宮崎が全国的に注目を浴びている。これを知事先頭で、件産品のPRが効き、売れ具合も上昇し、県全体の産業振興になりつつある。期待している。
建設業	家具製造 内装工事	宮崎	税務のあり方が昨年など中小企業に対して、余りにも不公平な事が多い。机上論だけの税法より1年で変更したりお粗末以外にもものでもなく、全国の中小企業は大変な思いをしたことでしょう。
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	宮崎における工業の出荷額は農業の出荷額の10倍だが、支援や補助金などは10分の1である。中小企業に厚い支援をお願いします。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	一般競争入札＝低価格入札＝手抜き工事への懸念

建設業	建築設計監理	宮崎	官庁の設計委託は競争入札が主流になっており、最低価格の制限がないため、超低価格入札でも落札し、受注している。最低入札額が予定価格の80%を下回る場合は、適正な図書の成果品、作成に必要な技術料及び資料の内訳書を提出させ、コスト調査を行った後、落札者を選択して欲しい。
建設業	建設業	日向	一般競争入札にて地元業者が有利になるような配慮をしてもらいたい。
建設業	建設業	日向	一般競争入札の導入が始まり、是とするところもある一方、品質の低下を招きく恐れがある。また利益確保が厳しくなり中小零細企業にとっては死活問題となる。改善策を講じてもらいたい。
建設業	造園工事・生産販売	日向	生活環境の整備、美しい日本。
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	地方分権を推進していく三位一体改革が実現している中で、今年度より約3兆円の税源が国から地方へ移譲されますので、今後より良い行政サービスが受けられること。そして地方(県)主導の景気対策をお願いしたい。都市、地方との差がある。
建設業	電気工事業	高鍋	地鶏やマンゴー等農産物の宣伝も良いが、宮崎県の建設業者は倒産が今から増えることは間違いない。今後早めに廃業した方が良く宮崎県は望んでいるのではないかと。建設業者に対する保護策はないのだろうか。
建設業	鉄骨建築業	高鍋	適正価格による入札。設計図書の不備によるままの入札価格の設定の見直し。
卸売業	建築資材	都城	住宅リフォーム等の補助金制度を再現してみてもどうか
卸売業	鶏卵卸業	都城	新しい東国原知事誕生で県内企業全てが(特に食品関係)売上倍増になっているようです。今が知事のイラストを利用して商品開発をおおいにやるべきだと思います。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	地方の景気浮揚対策を望む。
卸売業	業務用製品卸	日向	細島港を零細企業も利用しやすい様なシステム作りをしてほしい。
卸売業	青果卸	日南	国は景気回復による定率減税の廃止をしたけれども、景気回復どころか、ますます悪化する現状にあるので業種によって非常に差があることを認識してほしい
卸売業	焼酎製造業	小林	酒税及び消費税の軽減を望みます。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	景気には関係ないのですが、写真がフィルムからデジタル化へ進み、簡単に画像の修正等ができるようになりました。今まで建設作業の途中行程で、証拠写真としてフィルム写真を撮っていたので手抜き工事などは見抜けなくなりました。強度偽装問題は今後氷山の一角とならないように、行政のチェックをお願いします。
小売業	石油液化ガス製品小売	宮崎	宮崎の景気は低迷し、建築・土木関連の倒産も多く、顧客の新規拡大も難しい状況であります。石油価格が上昇となってきており、石油使用量の減少もまた、エネルギーの代替等問題が山積の状況。国・県等に望むとすれば、石油税軽油税の見直し、また外形標準課税等の撤廃などを希望しております
小売業	弁当製造販売	宮崎	全国規模のスポーツ大会の誘致をお願いしたい
小売業	総合小売業	宮崎	昨年より石油(ガソリン)が高騰しており、物・商品の原価及び物流コストの増となりつつある。また、一般家庭においても、車が重要な交通手段である宮崎において支出に大きな影響となり、消費低下の要因となると思われる。行政レベルでの石油値段の引き下げ対策を望む。
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	日本人の道徳も失われているが、商業道徳は全く消えうせて、勝ち残りから生き残りの時代となってしまった。街の治安は悪くなり、日本の格差は消えては又現れてきている。
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	燃料の高騰による運送業界の打撃及び車両規制等の緩和
小売業	ガソリンスタンド	日南	雇用の確保をしてもらいたい。その為には企業誘致を積極的に行ってもらいたい。観光客誘致に力を入れてもらいたい。
小売業	百貨店	日南	・人口の減少 ・高校生以上の若い方がいない。(雇用の確保) ・企業誘致の推進 ・体験型観光事業を推進し、日南ならではの特色を出す。

サービス業 貨物運送業	都城	原油価格の上昇により運送業界は燃料コストがアップしている。軽油取引税（現在32.1円）などの軽減措置をお願いしたい
サービス業 レンタカーリース	宮崎	受注に関する情報提供。県外受注が多い。
サービス業 冷暖房設備工事	宮崎	行政は県民の苦しんでいる状況が解っていないのでは？借金行政を県民にのみするのではなく、又、競争させる事ばかりに関心を向けるものでもなく、自助努力をして頂きたいと思う。
サービス業 国内電気通信事業	宮崎	県は、「自動車税をインターネットからクレジットカードで納めることができる全国初のサービスを始めた」と報道されたが、今後も情報通信産業を発展させるため、新規サービスに取り組んでいただきたい
サービス業 広告代理業	宮崎	県外企業等の進出により競合が激化しているが、地元企業等の支援のため、県・市町村等の予算配分等については考慮していただきたい。
サービス業 旅館業	延岡	新規企業に対する支援よりも、既存の施設に対しての保護策を考えて欲しい。公共施設(むかばきの施設)が補助金で宣伝してお客を取り込んでいるのは、税金の間違った使い方である。県営施設や国の施設を延岡に欲しい。
サービス業 クリーニング業	延岡	旭化成の増収増益、地元高校生採用や、ココレッタ延岡の開店など少し明るい材料はあるが、その反面、公共事業の減少や、入札制度の改革で不透明さもある。確かにこれまでのように地方都市にありがちな、公共事業が、お金の流れの元になるような図式ではいけないのだろうが、まだまだ、厳しい感じは否めない。
サービス業 飲食業	日向	飲食業全体として需要の停滞感がある。大手の新規出店や、後継者の問題等もあると思うが、まちなかの飲食街が盛り上がる制度、整備事業等があれば良いと思う。
サービス業 建築設計	日南	全ての業種で地産地消を心がけてもらいたい
サービス業 自動車練習場	日南	市町村合併を早く進めてほしい。法人税を低くしてほしい。
サービス業 ホテル	日南	県知事が全国版で宮崎をPRされている。その波に乗って、各市町村の魅力を発信し、観光客の増加を図ってほしい。
サービス業 警備保障	日南	今後は国・県・市の入札関係が厳しくなり、指名競争から一般競争へと変わっていくことで大変になる。参入業者も増えるので落札金額も減少となり、委託した業者も採算に苦慮するだろう。行政の方も最低価格を設け、低い業者については失格するなどしていく(予算は計上してあるため) 妥当な金額で落札しないと業務が手抜きとなりえない